

2013/04/07 城西世田谷東支部交流試合(参加は新学年です！)

クラス名	帯	本戦	延長	体重判定	再延長	防具類					
						ヘッドガード	マウスガード	拳サポーター	ひざサポーター	すねサポーター	急所ガード
1 幼年の部	帯無差別	1分30秒	1分30秒	なし (審判は延長戦で必ず決着をつける)	2分	公認面付 ヘッドガード 小学生は持参	任意 (歯科医作成可)	公認 拳サポーター	幼小1・2年不要	公認・練習用 いづれかの布 製のものを着 用	男子はフェー ルカップ 女子は胴着用 下腹部ガード・ 胸パッド不要
2 幼年の部特選クラス											
3 小学1年の部男女混合											
4 小学1年特選クラス男女混合											
5 小学2年の部											
6 小学2年特選クラス											
7 小学2年女子											
8 小学2年女子特選											
9 小学3年の部											
10 小学3年特選の部											
11 小学4年の部											
12 小学4年特選の部											
13 小学女子中学年の部											
14 小学女子中学年特選の部											
15 小学5年の部											
16 小学5年特選の部											
17 小学6年の部											
18 小学6年特選の部											
19 小学女子高学年の部											
20 小学女子高学年特選の部											
21 中学1年の部											
22 中学1年特選クラス											
23 中学1年女子											
24 中学1年女子特選クラス											
25 中学2・3年											
26 中学2・3年特選クラス											
27 中学2・3年女子の部											
28 中学2・3年女子特選クラス											
29 高校生の部											
30 高校女子の部											
31 女子Aの部(年齢無差別)											
32 女子Bの部(30歳以上)											
33 壮年35～39歳											
34 壮年35～39歳特選クラス											
35 壮年40～44歳以上											
36 壮年40～44歳以上特選クラス											
37 壮年45歳以上											
38 壮年45歳以上特選クラス											
39 一般	帯無差別	2分	2分	3kg	2分	運営側で用意	任意 (歯科医作成可)			布製を着用	

●クラスについて

◆特選クラスは支部内以上の試合で入賞経験がある選手。過去2年間全東京・関東大会・全日本・国際大会で入賞がない選手は可。ただし新人の経験を積むためという試合の趣旨上、指導員の判断で出場を控えてもらう場合があります。クラス名に特選と入っていないクラスについては試合での入賞経験がある選手は出場できません。

◆申し込み後の参加人数によりカテゴリー内で変更することがあります。(例・特選と統合、無差別を体重別など)

◆体重は申請と±5kg以上の差があった場合は失格となります。

●サポーターについて

◆義務付けのサポーター類は付けていない場合は失格となります。

◆全階級一撃オープンフィンガーグローブ使用不可

◆少年部は公認ヘッドガードを持参のこと。ない方は各道場で貸し借りをお願いします。

◆マウスガード義務付けの階級は女子ABの部と壮年の部です。(公認でなくても歯科医作成なら可)

◆テーピングには許可が必要です。事前に先生に相談してください。

●会場の使用について

◆会場は公共の施設ですのごみは必ず各自持ちかえってください。

◆駐車場は使用できません。公共交通機関を御利用下さい。(駐車場前にスタッフが立ち誤って入ってしまうのを防ぎます。)

◆会場内の靴箱には限りがあり、靴の紛失などトラブルの原因になるため使用できませんので、靴袋を持参してください

◆過去の大会で会場内で小さな子供を遊ばせていて他団体の方の迷惑になったり、飲食禁止の場所でお菓子を食べた上にゴミを散らかすなど大きな問題となっています。保護者のみなさまはそのようなことがないようにお願いします。また保護者でなくても遊んでいる子供を見かけた場合は注意をお願いします。

◆会場内は飲食禁止となります。試合を行うだけで部屋だけでなく、選手応援の方の暑さ対策の水分補給を除いて館内は原則飲食は禁止です。

◆以上を含む社会的に当然のマナーを守っていただけない場合は大会の進行の妨げになるだけでなく、次回以降会場を確保できなくなる事態にもつながります。選手はもちろん応援の方も武道団体の一員であることを自覚して責任のある行動をとってください。

